

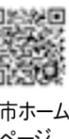
ボランティアを募集します
この事業を行うには、ボランティアの協力が必要です。一匹でも多くの野良猫を救うための活動と一緒にしてくれる皆さんを募集しています。詳しくは環境衛生課まで問い合わせください。

みやま市に手術会場を設置
本市は、昨年9月に全国の自治体で初となる「ワンヘルス推進宣言」を表明しました。宣言の実践に向け、令和4年度から、みやま市清掃センターをさくらねこ無料不妊手術事業の手術会場として提供します。

不妊手術をする理由
獣医師が捕獲された野良猫の不妊手術を行い、混合ワクチン、ノミダニ駆除薬を投与します。それにより発情期の鳴き声が少なくなったり、オスの尿によるマーキングがほぼなくなり、臭いも軽減するといった効果があります。飼主のいない猫は、マナーを守らないエサやりで繁殖し、恵まれない環境で暮らす猫が増えて、近隣住民に迷惑をかけてしまう悪循環が生まれます。そうならないためにも、不妊手術を行いましょう。

「さくらねこ」は無料不妊手術事業
「さくらねこ」は無料不妊手術を受けたしるしに、耳先を桜の花びらの型にカットした猫のことです。
本市は、公益財団法人どうぶつ基金による「さくらねこ無料不妊手術事業」に昨年11月から参加しています。この事業は、飼い主のいない猫を原因とする、ふん尿やごみの食い荒らしなどの被害の軽減と、事故や病気で死んでいくたくさんの猫の命を救うために、飼い主のいない猫に不妊手術を実施するものです。メス猫は1年間に20頭以上出産することがあり、猫が増えることでトラブルも増加します。

「さくらねこ」は無料不妊手術事業
「さくらねこ」は無料不妊手術を受けたしるしに、耳先を桜の花びらの型にカットした猫のことです。



▲市ホームページ

さくらねこって知ってますか？

くすっぴー

草って燃やすごみで良いよね？

環境衛生課職員

草を燃やすことは環境に悪く、ごみ処理費用もかかるので良くありません。家の庭や田畑で枯らすなど、土に還しましょう。

くすっぴー

なるべく早く処分したいんだけど…

環境衛生課職員

4月から始まる「草の資源化モデル事業」を活用してみましょう。



※多くの草が燃やすごみとして出されています

草は燃やすごみ？
草は本来自然に還るものです。が、燃やすごみとして出すと温暖化にも影響します。また、新ごみ焼却施設の建設費負担とごみ処理経費の負担の増加など、環境にも財政にも影響します。
草は自宅で枯らして土に還しましょう。
難しい場合は、「草の資源化モデル事業」を利用ください。回収した草は資源化されます。

草は燃やすごみ？

草や落ち葉を燃やすなんて、もったいない

草の資源化モデル事業(4月開始)

- ▼回収するもの 草、落ち葉、花き・シバ・サカキなど
- ▼注意 ①草についている泥は取り除く。
- ②4月から3袋以上の草を「燃やすごみ」として出している場合、「草の資源化への協力依頼」の張り紙をして回収せず置いていきます。
- ▼出し方 「燃やすごみ袋」に草のみを入れて清掃センターに電話で依頼し、水曜日に家の前に出します。

清掃センター電話番号 633・8422

※月曜日までに電話すれば、翌々日の水曜日に回収します。

ごみの減量に、皆さんの協力を

有明ひまわりセンターの建設費負担金は、3月からの1年間のごみ量で決まります。昨年11～12月のごみ量割合によると、みやま市は当初の計画より5千万円多くなる見込みです。

負担金の計画値達成のため、市民の皆さんの燃やすごみ減量への取り組みをお願いします。



▲有明ひまわりセンター

建設負担金	計画値	速報値
みやま市	25.2億円	25.7億円
柳川市	59.8億円	59.3億円

不妊手術の流れ

